

**PHIL
HAR
MONY**

September 2020
NHK Symphony Orchestra, Tokyo

感染症予防対策についての取り組み

みなさまに安心して演奏をお楽しみいただけるように、
以下の感染症予防対策について、ご理解・ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

- 会場内では、必ずマスクを着用し、手洗い、手指の消毒、咳エチケットにご協力ください。
 - 入退場時および会場内では、まわりの方々との距離を確保した上で行動くださいますよう、ご協力をお願いいたします。また、混雑緩和のために入退場時に、制限をさせていただく場合がありますので、あらかじめご了承ください。
 - 当日は極力接触を避けるため、会場内での当日券販売、チケットの当日精算は行いません。必ず事前に発券されたチケットをお持ちの上、ご来場ください。
また、お連れ様のチケットをお預かりすることもできませんので、あらかじめご了承ください。
 - 当日、チケット半券のもぎりは、係員の確認後、お客様ご自身でお願いいたします。
また、プログラムは所定の場所からお客様ご自身でお持ちください。
 - 座席については、前後左右に空間を設けた配置となっております。必ずお持ちのチケットのお席でご鑑賞ください。
 - ロビー等での歓談はなるべくお控えください。
 - 「ブラボー」等の掛け声はお控えください。
 - サイン会は実施しません。また、楽屋口での出演者の入待ち・出待ちはお断りいたします。また出演者への面会やプレゼントもお断りいたします。
 - 万が一、ご来場のみなさまの中から新型コロナウイルス感染者が発生した場合には、保健所など公的機関へチケット購入時にいただいたお客様の情報を提供する場合がございます。またその場合、複数枚をご購入いただいた方には、同伴者など、当日ご来場いただいた方の連絡先をお伺いいたします。あらかじめご承知おきください。
-
- 喫茶コーナーは休止しております（サントリーホールはソフトドリンクのみの提供）。
 - 会場内でのお食事はお控えください。また持ち込みもご遠慮ください。
 - NHK ホールの喫煙コーナーは休止しております。
 - クロークは休止しております。
 - ブランケット等の貸し出しサービスは休止いたします。必要に応じて、防寒の備えをお勧めいたします。
 - 会場内で他の公演のチケット販売は行いません。またCD等の販売もございません。
 - NHKホールでの公演について、終演後に運行していた渋谷駅行きの臨時バスは、3密（密閉・密集・密接）防止の観点から運休となります。

-
- 会場内のドアノブや座席の手すりなどはあらかじめ消毒を実施します。
 - 会場内の常時換気、開場中および休憩中の客席扉の開放など空気の入替えに努めます。
 - スタッフもマスクの着用等、ご来場のみなさま同様に感染予防の対策を行います。また、業務の内容により、フェイスシールドやビニール手袋の着用をさせていただきます。
 - 厚生労働省による「新型コロナウイルス接触確認アプリ(COCOA)」の活用を推奨いたします。

Philharmony

CONTENTS
SEPTEMBER 2020

9

- 3 2020-21シーズン開幕にあたって
- 4 [公演プログラム] **NHKホール** | 9月12日、13日
- 8 [公演プログラム] **東京芸術劇場** | 9月18日、19日
- 13 [公演プログラム] **サントリーホール** | 9月23日、24日
- 18 [インタビュー] **N響ホルン・セクションに聞く** 山田治生
シューマン《4本のホルンのための小協奏曲》をめぐる
- 21 [シリーズ] **N響百年史** 片山杜秀
第12回 | 山田耕筰の^{けんこんいつき}乾坤一擲
- 25 Information / 速報! 10月公演
- 26 特別支援・特別協力・賛助会員
- 30 NHK交響楽団メンバー
- 31 NHK SYMPHONY ORCHESTRA, TOKYO Members
- 表3 役員等・団友

お客様へのお願い



公演中は携帯電話、
時計のアラーム等は
必ずお切りください



演奏は最後の余韻まで
お楽しみください



場内での録画、録音、
写真撮影は固くお断り
いたします



私語、パンフレットを
めぐる音など、
物音が出ないように
ご配慮ください



演奏中の入退場は
ご遠慮ください



補聴器が
正しく装着されているか
ご確認ください

Special Thanks



NHK SYMPHONY ORCHESTRA T O K Y O

特別支援

岩谷産業株式会社

 三菱地所株式会社

東日本旅客鉄道株式会社

MIZUHO みずほ銀行

公益財団法人 渋谷育英会

With Special Support of

Iwatani Corporation

Mitsubishi Estate Co., Ltd.

East Japan Railway Company

Mizuho Bank, Ltd.

Shibuya Scholarship Foundation

NHK交響楽団は上記の各社から特別支援をいただいております。

2020年2月、ウィーン・コンツェルトハウスにて
©Lukas Beck

2020-21 シーズン開幕に あたって

新型コロナウイルスの感染が世界的に広がる中で、私たちNHK交響楽団は、2020-21シーズンの公演はこれまでの定期公演という形をとらず、新たなスタイルで開催します。これは、お客様に安心して楽しんでいただくため、客席の数や配置を大幅に制限せざるを得なくなったこと、また海外からの渡航制限やステージ上の安全確保の観点から、当初予定したプログラムのまま鑑賞いただくことが難しくなったためです。

1927年の第1回公演以来、戦時中も続けてきた定期公演を中断せざるを得ないことは、私どもにとって苦渋の決断でした。定期会員をはじめ楽しみにされていた皆様にお詫びしますとともに、この半年、多くの方々から励ましの声やご支援をいただいたことに心より感謝申し上げます。

N響の長い歴史の中でも経験したことのないシーズンが幕を開けます。お客様と出演者、スタッフの安全に配慮しながら、コロナの時代でも希望にあふれ、皆様に安らぎを感じていただけるような公演をお届けしてまいります。どうぞ、N響の演奏を心ゆくまでお楽しみください。

2020年9月

公益財団法人 NHK交響楽団

理事長 根本佳則

9/12 土 6:00pm

9/13 日 3:00pm

NHKホール

NHK Hall

September

12(Sat) 6:00pm

13(Sun) 3:00pm

指揮

山田和樹

Kazuki Yamada, conductor

コンサートマスター

篠崎史紀

Fuminori Maro Shinozaki, concertmaster

本公演の指揮を務める予定でしたバーヴォ・ヤルヴィは、海外からの渡航制限のため来日できなくなりました。代わって山田和樹が指揮を務めます。また、指揮者の意向により一部曲目*を変更させていただきました。

武満 徹

弦楽のためのレクイエム [10']*

モーツァルト

交響曲 第29番 イ長調 K. 201 [28']

I アレグロ・モデラート

II アンダンテ

III メヌエット

IV アレグロ・コン・スピリート

ブラームス

セレナード 第2番 イ長調 作品16 [29']

I アレグロ・モデラート

II スケルツォ: ヴィヴァーチェ

III アダージョ・ノン・トロポ

IV クアジ・メヌエット

V ロンド: アレグロ

*この公演に休憩はございません。あらかじめご了承ください。

Toru Takemitsu (1930–1996)

Requiem for Strings

Wolfgang Amadeus Mozart

(1756–1791)

Symphony No. 29 A Major K. 201

I Allegro moderato

II Andante

III Menuetto

IV Allegro con spirito

Johannes Brahms (1833–1897)

Serenade No. 2 A Major Op. 16

I Allegro moderato

II Scherzo: Vivace

III Adagio non troppo

IV Quasi menuetto

V Rondo: Allegro

*This concert will be performed with no intermission.

Artist Profile

山田和樹 (指揮)



2009年、若手指揮者の登竜門「ブザンソン国際指揮者コンクール」で優勝。ほどなくBBC交響楽団を、また同年にミシェル・ブラッソンの代役でパリ管弦楽団を指揮するなど、ヨーロッパで急速にその活躍の場を広げた。以後ドレスデン国立歌劇場管弦楽団、フィルハーモニア管弦楽団、ドレスデン・フィルハーモニー管弦楽団、ベルリン放送交響楽団、サンクトペテルブルク・フィルハーモニー交響楽団、チェコ・フィルハーモニー管弦楽団、エーテポリ交響楽団などヨーロッパの主要オーケストラに客演を重ね、さらに2014/15年シーズンにはアメリカで、2015/16年シーズンにはオセアニアでデビューするなど、その活動は世界各地に広がっている。

現在モンテカルロ・フィルハーモニー管弦楽団芸術監督兼音楽監督およびバーミンガム市交響楽団首席客演指揮者。2010年から2017年までスイス・ロマン管弦楽団首席客演指揮者を務めた。国内では、日本フィルハーモニー交響楽団正指揮者、読売日本交響楽団首席客演指揮者の地位にあり、東京混声合唱団音楽監督兼理事長、学生時代に創設した横浜シンフォニエッタの音楽監督としても活動している。

N響では2010年から2年間副指揮者として研鑽^{けんさん}を積み、2012年に初共演。その後2016年、2019年と定期公演を指揮している。

Program Notes | 小宮正安

感染症対策を踏まえ、「密」を避けた活動をおこなう……。オーケストラの長い歴史の中であって、かつてない取り組みを余儀なくされる状況下での新シーズンの幕開けだ。まただからこそ、さまざまに傷ついた人々の魂を慰撫^{いぶさ}し、時に追悼の情を交えながら、それでも希望^{うた}を謳い上げてゆく。そんな想いが、時代もジャンルも異なる本日のプログラムに貫かれてはいないか？

武満 徹

弦楽のためのレクイエム

1955年10月15日、戦後の日本の作曲界において目覚ましい活動をおこなっていた早坂文雄が亡くなる。彼と親交があった武満徹(1930~1996)は、この出来事をきっかけに、早坂のみならず、彼と同様結核に侵されていた自らに対する鎮魂の想いを《弦楽のためのレクイエム》に結実させた。

前衛音楽の旗手として頭角を現していた当時の武満を象徴するかのように、調性は

基本的に無調。また武満が「One by one のリズム」と呼ぶところの、西洋音楽の特徴である規則正しさとは異なる、それぞれのパート毎に揺らぐような拍節感が特徴だ。

いっぽうで、これも西洋音楽によく登場する3部構成を基としていたり、意外なほど調性的な動機や和声が出てきたりする。件のリズムについても、聴き手に違和感をもたらすよりかは、むしろ曲全体に満ちる瞑想性に身を委ねてもらおう狙いがあるのではないか。

前衛という時流に安住しない意外性。それが前衛の擁護派からも否定派からも理解されなかった結果、初演の際は不評だった。今では、武満ならではの個性が刻まれた代表作として、世界中で演奏されている。

作曲年代	1957年
初演	1957年6月20日、上田仁指揮、東京交響楽団
楽器編成	弦楽

モーツァルト

交響曲 第29番 イ長調 K. 201

鎮魂の調べをそと受け継ぐかのように、穏やかなイ長調の調べで開始される当作品。神童時代に別れを告げ、気鋭の青年音楽家として活躍し始めた18歳のヴォルフガング・アマデウス・モーツァルト(1756~1791)ならではの才能と創意があふれている。

例えば、冒頭部分。交響曲といえば、かつては舞台や演奏会の開幕を告げるべく華々しく始まるのが通例だったところ、そととささやきかけるような出だしだ。

強奏になるのは、ようやく13小節目になってから。しかもこの強奏部分、第1ヴァイオリンの旋律をヴィオラと低弦が2拍遅れで模倣する凝りようである。

また交響曲がイタリア風序曲から派生したという伝統を汲み、「急—緩—急」の3楽章形式で書かれるのが一般的だったところ、当時はまだ比較的珍しかった4楽章形式に基づいている点も目を引く。しかも交響曲といえばお馴染みのソナタ形式が、第1楽章だけではなく、第2楽章、第4楽章にも出現するのが特徴だ。

モーツァルトは当作品を、3度目の、そして最後となったイタリア旅行の後に書いている。イタリアに寄せる懐古の情と、最先端の実験精神が溶け合い、若きモーツァルトの傑作が生まれた。

作曲年代	1774年4月6日(完成)
初演	不明
楽器編成	オーボエ2、ホルン2、弦楽

ブラームス

セレナード 第2番 イ長調 作品16

「時流に安住しない意外性」を実現させたのは、ひとり武満に限らない。19世紀半ば以降であれば、さしずめヨハネス・ブラームス(1833~1897)が典型だ。またその代表格となる作品が、セレナードだろう。

ブラームスの時代から遡ること1世紀ほど前の18世紀後半、セレナードは祝賀や記念の際に屋外で演奏される器楽曲だった。ブラームスが尊敬していたモーツァルト自身、数多くのセレナードを手掛けており、ブラームスもそのひそみに倣った形である。とりわけイ長調(先ほど演奏された《交響曲第29番》と同じ調性だ)で書かれた《セレナード第2番》は、木管合奏を中心に、ヴァイオリンを除いた中低音の弦楽器が加わるといった具合に、18世紀のそれを彷彿させる編成となっている。

ただしブラームスは単に1世紀前の、流行遅れと見なされていたセレナードの「再現」を図ったわけではない。むしろセレナードの特徴である複数からなる楽章形式や、ある程度の自由な形式に基づく構成を活かすことを通じて、交響曲や管弦楽曲の作曲にも耐えうる技法を身につけながら、表現の可能性を広げようとした。

結果生まれたのが、祝いの場を盛り上げるべく楽しさや遊び心にあふれた18世紀型のセレナードとは、さまざまに異なる作品だった。つまり、「集中して聴く」ことを念頭に置いた「深刻さも辞さない」セレナードであり、それは寂寥感にあふれた出だしを特徴とする第1楽章から明らかである。しかも全曲のちょうど真ん中に位置し、他の楽章に比べると長大な構えの第3楽章はイ短調で書かれており、バッハを思わせる峻厳なパッサカリア風の様式になっている。メヌエット風に作られた第4楽章のトリオも、影の差す嬰へ短調。

またフィナーレの第5楽章では、伝統的なセレナードでは通常用いられないピッコロ(元々ピッコロは軍楽のイメージが強い楽器)が大活躍する。ブラームスがピッコロを用いること自体かなり珍しいのだが、あえて「飛び道具」的楽器を導入することで、荒々しいまでの生命力をここで爆発させようとしたのではないか。何しろ20歳代のブラームスは、恩人シューマンとの死別や、彼の妻クララへの失恋など心乱れる事件を体験しつつも、音楽の道を生き抜こうとしていたのだから。

作曲年代	1858年頃~1860年、1875年改訂
初演	1860年2月10日、ハンブルク、作曲家自身の指揮、ハンブルク・フィルハーモニー協会
楽器編成	フルート2、ピッコロ1、オーボエ2、クラリネット2、ファゴット2、ホルン2、ヴァイオリン以外の弦楽

小宮正安 | Masayasu Komiya

横浜国立大学大学院都市イノベーション研究院教授。専門はヨーロッパ文化史、ドイツ文学。

9/18 **金** 7:00pm
9/19 **土** 2:00pm

東京芸術劇場

Tokyo Metropolitan Theatre

September
18(Fri) 7:00pm
19(Sat) 2:00pm

指揮

広上淳一

Junichi Hirokami, conductor

コンサートマスター

白井 圭 | プロフィールはp.25

Kei Shirai, concertmaster

本公演の指揮を務める予定でしたバーヴォ・ヤルヴィは、海外からの渡航制限のため来日できなくなりました。代わって広上淳一が指揮を務めます。なお、曲目およびその他の出演者に変更はございません。

ウェーベルン(シュウォーツ編)
緩徐楽章(弦楽合奏版) [9']

R. シュトラウス

歌劇「カプリッチョ」

——六重奏(弦楽合奏版) [12']

R. シュトラウス

組曲「町人貴族」作品60 [36']

- I 第1幕への序曲
- II メヌエット
- III 剣術の先生
- IV 仕立て屋の登場と踊り
- V リュリのメヌエット
- VI クラント
- VII クレオントの登場
- VIII 第2幕への前奏曲
- IX 宴会

*この公演に休憩はございません。あらかじめご了承ください。

Anton Webern (1883–1945)/
Gerard Schwarz (1947–)
Langsamer Satz (String Orchestra
Version)

Richard Strauss (1864–1949)
“Capriccio,” opera Op. 85
– Sextet (String Orchestra Version)

Richard Strauss
“Der Bürger als Edelmann,” suite
Op. 60

- I Overture zum 1. Aufzug
- II Menuett
- III Der Fechtmeister
- IV Auftritt und Tanz der Schneider
- V Das Menuett des Lully
- VI Courante
- VII Auftritt des Cléonte
- VIII Vorspiel zum 2. Aufzug
- IX Das Diner

*This concert will be performed with no intermission.

Artist Profile

広上淳一 (指揮)



©Masashi Tomoji

1984年、第1回「キリル・コンドラシン国際青年指揮者コンクール」で優勝。以降フランス国立管弦楽団、ベルリン放送交響楽団、ロイヤル・コンセルトヘボウ管弦楽団、モントリオール交響楽団、イスラエル・フィルハーモニー管弦楽団、ロンドン交響楽団などの世界の主要なオーケストラに客演。スウェーデンのノールショピング交響楽団首席指揮者、オランダのリンブルク交響楽団首席指揮者、ロイヤル・リヴァプール・フィルハーモニー管弦楽団首席客演指揮者、アメリカのコロンバス響音楽監督を歴任した。

オペラでも活躍し、グルック、モーツァルトからヴェルディ、プッチーニ、さらにオスバルト・ゴリホフ《アイナダマール》の日本初演まで、幅広いレパートリーで数々のプロダクションを成功に導いている。

日本では2008年に京都市交響楽団常任指揮者に就任し、2014年より同団ミュージック・アドヴァイザーを兼任。2020年4月からは常任指揮者兼芸術顧問の地位にある。2017年4月からは札幌交響楽団友情客演指揮者も務める。また、東京音楽大学指揮科教授として後進の指導にも力を注いでいる。

N響とは、数少ない日本人の常連指揮者のひとりとして定期的に共演を重ねている。2016年、有馬賞受賞。

Program Notes | 広瀬大介

アントン・ウェーベルン(1883~1945)が《緩徐楽章》を作曲した1905年は、リヒャルト・シュトラウス(1864~1949)の《歌劇「サロメ」》が初演された年でもある。新ウィーン楽派の作曲家たちがその個性を確立する以前の作品には、はっきりと時代の「空気」が横溢している。今回のシュトラウス作品がフランス・バロック期の影響下にあるのも、新古典主義的な音楽をよとした時代の「空気」を反映しているといえようか。

ウェーベルン(シュウォーツ編)

緩徐楽章(弦楽合奏版)

十二音音楽によって新しい作曲のシステムを編み出した新ウィーン楽派。若きアルノルト・シェーンベルク(1874~1951)がアントン・ウェーベルン、そしてアルバン・ベルク(1885~1935)を続けて弟子に取ったのは1904年のこと。師弟の年齢差はわずか10歳ほどであり、この三者の間には師弟という以上の精神的紐帯ちゆうたいが育まれていく。

シェーンベルクは1899年に弦楽六重奏のための《清められた夜》を、1902年から

1903年に《交響詩「ペレアスとメリザンド」》を作曲。マーラーやシュトラウスの交響詩の路線を引き継ぎつつ、新しい音楽語法の開拓に余念がない時期でもあった。ウェーベルンはいまだウィーン大学で音楽学を学んでいたが、やがて作曲にみずからの天性を見出すようになっていく。

弦楽四重奏のための《緩徐楽章》は、師に出会った翌年、1905年に作曲された(今回は指揮者ジェラード・シュウォーツによって弦楽オーケストラ用に編曲された版で演奏される)。緩やかなソナタ形式による習作ではあるが、穏やかな曲調の中で2つの主題を動機作的に扱う技法、あるいは2拍と3拍を複合的に使う手法には、新ウィーン楽派が精神的拠り所としたブラームスの影響も垣間見える。展開部の中ほど、半音階的パッセージが一気に盛り上がり、全パートがユニゾンで中間部の主題をフォルティッシモで奏するのは、あきらかに師匠の《清められた夜》を彷彿とさせよう。本作に続いて作曲された単一楽章の《弦楽四重奏曲》ではAABの構造(パル形式)を用い、さらなる実験へと足を踏み入れる。

作曲年代	1905年6月
初演	1962年5月27日、シアトル(第1回国際ウェーベルン祭)、ワシントン大学弦楽四重奏団 [弦楽オーケストラ版]1982年5月16日、ニューヨーク、Y室内交響楽団(現ニューヨーク室内交響楽団)
楽器編成	弦楽

R. シュトラウス

歌劇「カプリッチョ」——六重奏(弦楽合奏版)

リヒャルト・シュトラウスは、85年の生涯で計15作のオペラを手がけた。とくにその後半生は、自身もてる余力をことごとく注ぎ込むようにオペラ制作へと邁進する。20年の長きにわたって協力関係を保ったフーゲー・フォン・ホフマンスタールとの共作は15作中6作と聞くと、意外と少ないと感じられる方もおられるだろう。ホフマンスタールの死後、新たなパートナーとなったオーストリアの作家シュテファン・ツヴァイクとの共作は《無口な女》(1935年初演)一作を生み出すに留まった。だが、ツヴァイクのセンスを高く評価したシュトラウスは、ともに生み出した構想をもとに、彼の最後のオペラ作品となる《カプリッチョ》を世に送り出す。

かつてツヴァイクは、アントニオ・サリエリが作曲した《歌劇「はじめに音楽、それから言葉」》(台本:ジョヴァンニ・バッティスタ・カステイ)を現代風に翻案できないかとシュトラウスに提案していた。オペラにおいて言葉と音楽のどちらが優位を保つべきか、詩人と作曲家の恋のさや当てにこと寄せて描いたものだった。しかしツヴァイクの亡命後、企画は棚上げされていたが、この題材を再び取り上げることになった際、シュトラウスは自身で改めて台本を書きおろし、指揮者クレメンス・クラウスと協力しながら内容を練り上げた。

全1幕、2時間以上を要する作品の冒頭、シュトラウスは前奏曲代わりに、「序奏

Einleitung」と題した弦楽六重奏を置いた。作品の舞台となるフランス・バロック期を感じさせる、擬古典的な、優雅な曲想を持ち合わせた作風ではあるが、あきらかにシュトラウス自身の個性を反映した半音階的手法、モチーフの労作に彩られてもいる。オペラではこの曲の最後の部分で幕が開き、オーケストラピットの弦楽器奏者からそのまま舞台裏で演奏する楽団へと受け渡される。サロンで演奏している楽団の演奏をオリヴィエ(詩人)とフラマン(作曲家・この曲を作ったという設定)が聴きながら会話を交わしており、そのそばでは曲に退屈しきったラ・ロッシュ(舞台演出家)が眠りこけている。

作曲年代	1939年～1941年8月
初演	1942年10月28日、バイエルン国立歌劇場、クレメンス・クラウス指揮
楽器編成	弦楽

R. シュトラウス

組曲「町人貴族」作品60

《歌劇「ばらの騎士」》で大成功を収めた台本作家ホフマンスタールとシュトラウスは、17世紀フランスの劇作家モリエールの代表作『町人貴族』に劇中劇として《歌劇「ナクソス島のアリアドネ」》を組み込み、同時に上演するという野心作を世に問うた(1912年)。しかしこの初演と、後に続くドイツ各地での上演はともに失敗する。演劇とオペラを結びつける試みは、演劇のファン、オペラのファン双方に受け入れ難いものとなってしまう(シュトラウス曰く「演劇を見に来た観客は、オペラが始まると退屈してしまう。逆もまた然り」)。後に《アリアドネ》は、別に楽屋落ち喜劇(序幕)を作り足して独立させ(1916年)、《町人貴族》も純粋な演劇への付随音楽として改訂された(1918年)。

シュトラウスは全17曲から成る付随音楽から9曲を選び出し、演奏会用の組曲を編んだ(1920年)。曲順はほぼ劇の順番に従っているが、最後の〈クラント〉は穏やかな曲のため、華やかに曲が終わる〈宴会〉と入れ替えられている。17～18世紀フランス音楽(特にリュリヤクーブラン)を研究していたシュトラウスは、新古典主義の時代ともあいまって、この要素をその後も折々に用いていく。

貴族に列したい大金持ちの町人ジュルダンは、素養を身につけるためにダンスを習い(〈メヌエット〉)、フェンシングを習い(〈剣術の先生〉)、仕立屋を呼んで貴族の服を誂えさせる(〈仕立て屋の登場と踊り〉)。ジュルダンの娘リュシルは恋人クレオントと結婚の許可を得ようとするが(〈クレオントの登場〉)、娘を貴族と結婚させようとしている父親は相手にもしない。ジュルダンの金を目当てにするドラント子爵はジュルダンが惚れている(そして自分の愛人でもある)侯爵夫人ドリメヌを連れてきて、豪華な晩餐会を開かせる(〈クラント〉〈宴会〉)。クレオントはトルコの王子に変装し、ジュルダンをトルコ貴族に列すると言葉巧みにだまし、リュシルと見事結婚式を挙げてしまう(〈第1幕への序曲〉〈リュリのメヌエット〉)

〈第2幕への前奏曲〉は各幕の序曲・間奏曲)。

この種のくつろいだ雰囲気を持つ作品に対し、シュトラウスはその遊び心を最大限に発揮するのが常である。ジュルダン氏の大騒ぎを示す序曲の後には、《アリアドネ》序幕で作曲家が靈感を受けて歌うアリアの一節が組み込まれ、オペラの余韻を響かせる。終曲〈宴会〉では、ワーグナー《ラインの黄金》や自作《ドン・キホーテ》《ばらの騎士》、果てはヴェルディ《リゴレット》の〈女心の歌〉とおぼしき旋律まで、さまざまな引用を採り入れる。シュトラウスが自作・他作からの引用を採り入れる作品は、自身の自画像的要素を併せ持つことが多い。裕福な市民階級の出であったシュトラウスは、同じブルジョワのジュルダン氏にもみずからの姿を見ていたのだろうか。

作曲年代	[劇付随音楽・初稿]1910年～1912年7月 [劇付随音楽・改定稿]1918年 [組曲版]1920年
初演	[劇付随音楽・初稿]1912年10月25日、シュトゥットガルト宮廷劇場、作曲家自身の指揮 [劇付随音楽・改訂稿]1918年4月9日、ベルリン・ドイツ劇場、アイナー・ニルソン指揮 [組曲版]1920年1月31日、ウィーン(オイゲン公宮殿)、作曲家自身の指揮
楽器編成	フルート2(ピッコロ2)、オーボエ2(イングリッシュ・ホルン1)、クラリネット2、ファゴット2(コントラファゴット1)、ホルン2、トランペット1、トロンボーン1、ティンパニ1、小太鼓、タンブリン、トライアングル、大太鼓、シンバル、グロッケンシュピール、ハープ1、ピアノ1、弦楽

広瀬大介 | Daisuke Hirose

青山学院大学文学部比較芸術学科教授。専門は19～20世紀のドイツ音楽史。

9/23 水 7:00pm

9/24 木 7:00pm

サントリーホール

Suntory Hall

September

23(Wed) 7:00pm

24(Thu) 7:00pm

指揮

下野竜也

Tatsuya Shimono, conductor

ホルン

響ホルン・セクション(福川伸陽、今井仁志、勝俣 泰、石山直城)

Horn Section of NHKSO

(Nobuaki Fukukawa, Hitoshi Imai, Yasushi Katsumata, Naoki Ishiyama), horns

コンサートマスター

伊藤亮太郎

Ryotaro Ito, concertmaster

シューマン

4本のホルンのための小協奏曲 へ長調

作品86[19']

- I 生き生きと
 II ロマンツェ:かなりゆっくりと、しかしひきずらずに
 III とても生き生きと

コダーイ(下野竜也編)

ミゼレーレ[6']

シューマン

交響曲 第4番 二短調 作品120[28']

- I かなりゆっくりとー生き生きと
 II ロマンズ:かなりゆっくりと
 III スケルツォ:生き生きと
 IV ゆっくりとー生き生きと

*この公演に休憩はございません。あらかじめご了承ください。

Robert Schumann (1810–1856)

Konzertstück

for 4 Horns F Major Op. 86

- I Lebhaft
 II Romanze: Ziemlich langsam, doch nicht
 schleppend
 III Sehr lebhaft

Zoltán Kodály (1882–1967) /

Tatsuya Shimono (1969–)

Miserere

Robert Schumann

Symphony No. 4 D Minor Op. 120

- I Ziemlich langsam–Lebhaft
 II Romanze: Ziemlich langsam
 III Scherzo: Lebhaft
 IV Langsam–Lebhaft

*This concert will be performed with no intermission.

Artist Profiles

下野竜也(指揮)



1969年鹿児島生まれ。鹿児島大学教育学部音楽科を経て、桐朋学園大学音楽学部附属指揮教室に学ぶ。1996年にシエナのキジアーナ音楽院に留学、翌年大阪フィルハーモニー交響楽団の指揮研究員となる。1999年から2001年までウィーン国立演劇音楽大学に留学。

2000年に東京国際音楽コンクール〈指揮〉で優勝と齋藤秀雄賞を受賞、2001年にはブザンソン国際指揮者コンクールに優勝して注目される。

2006年に読売日本交響楽団の正指揮者となり、2013年から2017年までは首席客演指揮者を務めた。2011年に広島ウインドオーケストラ音楽監督に就任。2014年から京都市交響楽団の常任客演指揮者となり、2017年から2020年まで常任首席客演指揮者。2017年に広島交響楽団の音楽総監督に就任した。国内外の主要オーケストラにも客演している。2017年には京都市立芸術大学音楽学部の指揮専攻教授に就任。

NHK交響楽団を初めて指揮したのは2005年の都民芸術フェスティバル参加公演。2007年に定期公演に初登場し、2013年以後は定期公演や特別公演などを毎年指揮している。

[山崎浩太郎／音楽評論家]

福川伸陽(ホルン)



神奈川県出身。2013年にNHK交響楽団入団、現在首席奏者。第77回日本音楽コンクール・ホルン部門第1位受賞。ソリストとして、パドヴァ・ヴェネト管弦楽団、京都市交響楽団、日本フィルハーモニー交響楽団、東京フィルハーモニー交響楽団ほかと共演。ロンドンのウィグモアホールでのリサイタルをはじめ世界各地から招かれており、ヴェネチア・ビエンナーレやラ・フォル・ジュルネ・オ・ジャポン、東京・春・音楽祭などの音楽祭にもソリスト・室内楽奏者として出演を重ねる。東京音楽大学兼任准教授、国際ホルン協会評議員。

今井仁志(ホルン)



愛媛県出身。千葉馨、伊藤栄一、原田祝晃、E. ティルヴィリガーに師事。1988年オーケストラ・アンサンブル金沢に入団。1996年にアフィニス文化財団海外派遣制度によりミュンヘンのR. シュトラウス音楽院に留学したあと、1997年より東京交響楽団で首席奏者を務めた。NHK交響楽団には2000年に入団し、現在首席奏者。トウキョウ・ブラス・シンフォニー、金管五重奏団N-craftsのメンバーとしても精力的な活動を繰り広げている。桐朋学園大学、昭和音楽大学、武蔵野音楽大学の非常勤講師。

勝俣 泰 (ホルン)



東京都出身。東京藝術大学卒業、同大学院修了。文化庁派遣在外研修員としてデュッセルドルフのローベルト・シューマン音楽大学へ留学。有馬純晴、守山光三、千葉馨、松崎裕、水野信行、ヨアヒム・ペルトゥルに師事。1999年に新日本フィルハーモニー交響楽団へ入団し、2006年NHK交響楽団入団。洗足学園音楽大学客員教授、東京音楽大学非常勤講師。ジャパン・ホルン・クインテットのメンバーを務めるほか、サイトウ・キネン・オーケストラや水戸室内管弦楽団、各地の音楽祭にたびたび出演している。

石山直城 (ホルン)



静岡県出身。1988年武蔵野音楽大学卒業。1989年に神奈川県フィルハーモニー管弦楽団へ入団し、2013年NHK交響楽団入団。須山芳博、田中正大に師事。宮崎国際音楽祭、東京・春・音楽祭をはじめとする音楽祭やジャパン・ヴィルトゥオーゾ・シンフォニー・オーケストラなどへの出演を重ねるかたわら、クラシック・オーケストラの分野以外にもロードウェイ・ミュージカルの来日公演などにもオーケストラ・メンバーとして長くかかわっていた。現在、東京藝術大学非常勤講師として後進の指導にもあたっている。

Program Notes | 太田峰夫

ローベルト・シューマン(1810~1856)とゾルターン・コダーイ(1882~1967)。いずれもさまざまな業績を残した。演奏の達人ではなかったが、立派な文章を書き、作曲家としても彼らは多くの傑作を書いたが、その音楽のユニークな価値がしかるべく評価されているとは、まだまだ言いがたい。だが、本日演奏される作品からは、そんな彼らの共通項として楽曲構成や響きに関する、意外なくらいの独創性が浮かび上がってくるだろう。

シューマン

4本のホルンのための小協奏曲 へ長調 作品86

ドレスデン時代(1844~1850)末期のシューマンは、妻クララが出産により演奏活動に専念できなくなったことから、オーケストラの音楽監督の職に就くことを真剣に考えるようになっていた。この時期に彼が多くの管弦楽曲を手がけた理由のひとつはおそらくそれであり、この小協奏曲もドレスデンのオーケストラのホルン奏者達のために作曲された。

4本の独奏ホルンという編成は珍しいが、4本あれば、独奏パートだけで和音を奏で

られる利点がある。シューマンもこの点に注目し、作品中ではさまざまな重奏を要求している。背景にあるのはもちろん、楽器の「改良」だ。19世紀前半、従来のナチュラル・ホルンにかわり、ヴァルヴ式ホルンとよばれるタイプが開発され、それまで演奏不可能だった半音階が演奏できるようになっていた。まさにこのタイミングを捉え、発明の可能性を最大限に引き出したのはシューマンならではの功績と言えよう。

曲は3楽章からなり、全曲は切れ目なく演奏される。第1楽章はソナタ形式。独奏ホルンの力強いファンファーレとオーケストラの旋律が主要主題群を構成する。独奏ホルンが副次主題をたおやかに歌い切った後が展開部、オーケストラが主要主題をへ長調で再び歌うところからが再現部だ。第2楽章は3部からなる緩徐楽章。中間部ではヴァルヴ式ホルンならではの半音階的な和声進行が味わえる。第3楽章は3部からなる快速楽章。中間部では、第2楽章中間部の主題が形をかえて登場する。

作曲年代	1849年2月18日～3月11日
初演	1850年2月25日、作曲家自身の指揮、ライブツィヒ・ゲヴァントハウス管弦楽団
楽器編成	フルート2、ピッコロ1、オーボエ2、クラリネット2、ファゴット2、ホルン2、トランペット2、トロンボーン3、ティンパニ2、弦楽、ホルン・ソロ4

コダーイ(下野竜也編)

ミゼレーレ

「ケスラーは見事なほど、合唱の技術的な事柄に通じていた。(中略)自分は当初から、それも学生時代から仲間達のために合唱曲を書いてきたが、ケスラーは確かに、合唱音楽への私の愛着を深めてくれた」。ブダペスト王立音楽院時代の師匠ハンス・ケスラーについて、コダーイは後年、このように述べている。混声複合唱のための《ミゼレーレ》は、まさに彼がこの「ブラームスの友人」の指導のもとにあった1903年9月に書かれた。そしてその後まもなくコダーイは、ライフワークであるハンガリー民謡の研究にのりだすのである。

ハ短調で書かれたこの音楽の中に、後年のコダーイのモダンな様式の片鱗を見出すことは難しい。ただ、堅実なロンド風の構成(序奏つきのABACA)は、最終学年になったばかりの彼が、すでに合唱音楽の書法に十分に通じていたことを教えてくれる。

本日は下野竜也による管弦楽用編曲を演奏する。

作曲年代	1903年6月～1903年9月10日完成
初演	[原曲]1972年12月19日、ジェルジ・グヤーシュ指揮、デブレツェン・コダーイ合唱団、デブレツェン・リスト音楽院コダーイ・ホールにて
楽器編成	フルート2、オーボエ2、クラリネット2、ファゴット2、ホルン2、トランペット2、トロンボーン3、ティンパニ1、弦楽

シューマン

交響曲 第4番 二短調 作品120

シューマンの《交響曲第4番》(当初《交響的幻想曲》と呼ばれていた)は《第1番》と同様、彼のいわゆる「交響曲の年」である1841年に作られた曲のひとつである。

数多くの管弦楽曲を書けたのは、彼自身にとってよいことだったにちがいない。むしろ問題は、それらをいつ、誰に演奏してもらえるかがわからない、という点にあった。ワーグナーとは違い、演奏家としての経験の乏しいシューマンには、誰かに指揮を託すほかの選択肢がなかったのだ。《第1番》の成功は、初演の指揮を引き受けてくれたメンデルスゾーンに負うところが大きかったのである。この点で、《第4番》は不運だった。というのも、頼みの綱のメンデルスゾーンに初演を引き受けてもらえなかったからである。

転機が訪れたのはデュッセルドルフ時代(1850~1854)のことだ。音楽協会の指揮者として実績をあげ、自信をつけたシューマンは満を持して旧作の改訂と演奏に挑んだのである。改訂にあたって彼は、楽曲の基本的な構成を残しつつ、楽章間の動機的連関を緊密にした。指揮者シューマンは技術、体力、意思疎通の能力において、明らかに多くの問題をかかえていたが、それでも彼は作曲家として、なおも人々の尊敬を集めていた。そのことも影響したのか、改訂版の初演は好評だったようである。

作品は4楽章からなり、全曲は切れ目なく演奏される。全曲を通して同じ主題がかたちを変えつつ、何度も使われる点で、この交響曲はリストの交響詩のスタイルを先取りするものとも言える。

第1楽章は序奏つきのソナタ形式。展開部は2部からなり、新しい主題が登場する。転調を繰り返した後、曲は再現部を経ずに結尾部へと向かう。第2楽章は3部形式。主部では第1楽章序奏が回想される。第3楽章はトリオの再現をもつスケルツォ。トリオ主題は第2楽章中間部の主題を変奏したものである。第4楽章は序奏つきのソナタ形式。第1楽章展開部の主題を中心に、自由に展開していく。最後は速度を速め、はなやかに閉じられる。

作曲年代	1841年5~10月。1851年に改訂
初演	[1841年版]1841年12月6日、フェルディナント・ダーヴィト指揮、ライプツィヒ・ゲヴェントハウス管弦楽団 [1851年版]1853年3月3日、作曲家自身の指揮、デュッセルドルフ市音楽協会管弦楽団
楽器編成	フルート2、オーボエ2、クラリネット2、ファゴット2、ホルン4、トランペット2、トロンボーン3、ティンパニ1、弦楽

太田峰夫 | Mineo Ota

宮城学院女子大学教授。おもな研究領域は20世紀ハンガリー音楽史、とりわけバルトークの音楽。

N響ホルン・セクション

福川伸陽 今井仁志 勝俣泰 石山直城 に聞く

——シューマン《4本のホルンのための小協奏曲》をめぐる

インタビュー・文◎山田治生 / 撮影◎平舘 平



2020年3月NHK交響楽団高輪演奏所にて。左から石山、勝俣、今井、福川

NHK交響楽団9月公演(サントリーホール)ではシューマン

《4本のホルンのための小協奏曲》を取り上げる。

ソリストを務める4人のホルン奏者がこの楽曲に寄せる想いと、

N響ホルン・セクションについて語った。

——シューマン《4本のホルンのための小協奏曲》との出会いや今回の公演についてお聞かせください。

石山◎高校2年生のとき、『N響アワー』で聴いたヘルマン・パウマンの演奏¹を聴いたときの衝撃は大きかったですね。ホルンであんなに高い音が出るはずがない、これは絶対に自分の聴き間違いだと思いました。今回、僕は4番パートを吹くのですが、4人のサウンドをまとめる役として1番から3番までをサポートします。また、

4番だけちがう動きもします。

勝俣◎思い出深い録音といえば、ゲルト・ザイフェルトですね。鮮やかな演奏で、高音のA(ラ)の音がこんなにしっかりと聴こえたものはないと思いました。今でもたまに引っ張り出して聴くこともあります。僕が担当する3番ホルンもサポートにまわることが多いかな。オーケストラのホルンでは、ほとんど1番と2番、3番と4番がそれぞれ組み合わせられていて、3番は高い音を担当することが多いのですが、この曲では1、2、3、4番の順に高音域が割り当てられていて、3

番は下から2番目の低音を吹くことが多いですね。

今井◎一番はじめに聴いたのは高校3年生のころです。ホルンで最高音といわれているのはハイF(高いファの音)ですが、この曲ではさらに高いハイA(高いラの音)が出てくるのです。ハイFを出すのもままならないところに聴いたザイフェルトの録音は衝撃的でした。そしてそのハイAが一番大きい音なんですよ(笑)。でも僕が担当する2番ホルンはハイFまで。1番に比べるとちょっと気楽です(笑)。N響のメンバーでどのようなシューマンが演奏できるか今から楽しみです。

福川◎たぶん、初めてオーケストラと一緒に演奏した協奏曲がこの曲です。日本フィルハーモニー交響楽団の演奏会(2006年7月)で、そのときは2番を吹きました。金管楽器の協奏曲はパワーが第一みたいところがありがちで、どうしても大きな音や高い音に注目が行きますが、シューマンは、力で押すタイプの作曲家ではありません。N響ではすばらしい指揮者とシューマンの交響曲を共演してきているので、そういう方向から解釈を深めていきたいと思っています。

——オーケストラにおけるホルンという楽器の背景や役割は?

石山◎ナチュラル・ホルン²の時代、オーケストラで用いられるホルンは基本的に2本編成でした。楽器の構造上、基本的にひとつの調しか演奏できなく、調を変えるためには管を差し替える必要がありました。交響曲の展開部など転調にも対応できるよう別の調性の楽器を2本足して4本にしたのはベートーヴェンやブラームスのあたりだと思います。オーケストラのホルンが基本的に1番上・2番下・3番上・4番下と交互になっているのは、こういった背景からだと思います。モーツァルトも例外的に《交響

曲第25番》³で4本を使っていますが、これは曲が短調だからですね。自然倍音だけでは長調になってしまうので、G管(3・4番)とB \flat 管(1・2番)を組み合わせると短調を作りだしています。モーツァルトは天才ですね。

福川◎その後、ナチュラル・ホルンとすべての調を演奏できるヴァルヴ・ホルンが混在していた過渡期は長かったです。たとえば、サン・サーンスの《交響曲第3番》(1886)では、1・2番がナチュラル・ホルン、3・4番がヴァルヴ・ホルンで演奏します。ナチュラル・ホルンからヴァルヴ・ホルンに変わったことで決定的なことは、1・2番と3・4番との間で音色感を統一できるようになったことです。例えば、先ほどのモーツァルトの例のように、1・2番がG管で、3・4番がB \flat 管だとすると、当然音色も違う。それが全員ヴァルヴになって4人でより濃密なひとつのハーモニーを作ることができるようになりました。

——今回の《4本のホルンのための小協奏曲》はヴァルヴ・ホルンでないと演奏できないのですか?

石山◎ヴァルヴ・ホルンでないと演奏不可能です。

今井◎この曲のソリスト4人は、協奏曲のソリストというより、オーケストラの中の4人が前にいるという感じです。ソリストティックなパッセージはいっぱいありますが、いつものオーケストラの中でハーモニーを作っている感覚や僕らのセクションの良さを表現したいと思っています。

勝俣◎ソリスト4人以外にもオーケストラの中にホルンが2本いるので、曲全体でホルンは6本なのです。

今井◎4番ホルンは、石山さんが言われたように、ひとりだけ違うことをやっているの、そこも聴きどころだと思います。4番のハーモニーを

作するための動きがすごくカッコいいんです。作曲された当時は、ホルンは1・2番、3・4番という2本と2本で括られるのが一般的で、1・2・3番が同じ動きをして4番だけがちがう動きをするというのはめずらしかった。

勝俣◎シューマンは、ホルンの使い方に関して既成概念にまったくとらわれていなかったのです。

——N響のホルン・セクションの特徴はどんなところですか？

勝俣◎すごく仲が良いところ。過去にみんなでイタリアに遊びに行ったことがあり、数日一緒にローマやバチカンに行きました。今日しているネクタイはそのときローマで買ったものです(笑)。プロがそんな仲よし集団である必要があるかはわかりませんが、気心の知れた仲間と一緒に音を紡いでいくというのは気持ちが良いことです。

今井◎楽器がひとりひとりちがうのがN響の特徴だと思います。普通、セクションで同一のメーカーで揃えているオーケストラが多いのですが、僕は自分の好きな楽器をそれぞれ使って、でもちゃんと音質を合わせる。音の方向性がみな一緒だから大丈夫なんです。N響の音質は、英語でダーク・トーンという、暗いというより太いというか、どちらかという温かい音を目指しています。

石山◎サウンドの横のつながりを重視する、昔からの伝統があります。何も言わなくても同じ方向を向けるというのは、N響の大きな特徴かなと思います。

福川◎僕の役割は音楽の方向性を示すこと。音色は、2、3、4番の人たちが作ってくれるので、そこにポンと乗るだけでいい。僕自身がセクションの音色をどうしようと思ったことはありません。基本的には意識の共有ができて

いるから、何も言わなくても僕の演奏を聴いて、すっと寄せてくれます。

——オーケストラ作品でホルン奏者として好きな作品は？

石山◎演奏するのも聴くのもプロコフィエフは好きですね。《ロメオとジュリエット》や《シンデレラ》。

勝俣◎一番思い入れが強いのはマーラーの《交響曲第9番》ですね。命を削りながら吹いている感覚があります。近年ではセクションとして喜びを感じ、演奏して幸せだと思ったのはマーラーの《交響曲第5番》ですね。

今井◎ブラームスの楽曲は、自身がホルンを吹けただけあって、ホルン奏者だったらこの旋律をどういう気持ちで吹くのかをわかって書いている感じがします。だからブラームスと一緒に吹いているみたいな感じがするのです。

福川◎僕は、モダン楽器だけでなく、ピリオド楽器(ナチュラル・ホルンやバロック・ホルン)も演奏するので、ピリオド楽器のときはバウマンが一番好きですね。モダン楽器だと、ブラームス、マーラー、R. シュトラウス。ドビュッシーやラヴェルなどのフランス音楽が目立たないところでふわって吹いているのも大好きです。

注

1. 『N響アワー』:1982年6月23、24日に行われた第875回N響定期公演(NHKホール)の放送映像を指す。ヘルマン・バウマンは1番パートを務め、2~4番パートはN響ホルン奏者(田中正大、松崎 裕、山本 真)が担当した。
2. ヴェルヴがなく、基本的に自然倍音を出すホルン
3. モーツァルトの交響曲のなかで短調は《第25番》と《第40番》のみである

N響百年史

第十二回 山田耕筰の乾坤一擲

片山杜秀 — Morihide Katayama

二〇二六年のN響創立百周年に向け、NHK-FM「クラシックの迷宮」のパーソナリティとしても馴染みの思想史研究者で音楽評論家の片山杜秀さんが、N響の歴史を時代背景とともに、独自の視点からひもときます。一九二六年、東京フィルハーモニー会管弦楽部解散によって灯の消えたように見えた日本のオーケストラ運動を再び活気づけたのは、やはりこの人でした——。

一路アメリカへ！

東京の音楽界は急に寂しくなった。三菱財閥の岩崎小彌太をスポンサーとして、山田耕筰の率いた東京フィルハーモニー会管弦楽部は、1916(大正5)年早々に消えてしまった。帝都に生まれ、定期演奏会を行う職業的交響楽団の寿命は、1年ともたなかった。明治維新から約半世紀を経ても、お金を払って定期的にオーケストラを聴こうとする人々なんて、東京でさえ、実はまだあまり育っていなかったのかもしれない。

だが、本当にそうか。西洋音楽のハイブローなレパートリーにあこがれる若者は確実に増えている。学習院の生徒の近衛秀麿も、山田を慕って作曲の勉強をしに通ってくるではないか。他にも、成田為三ら、何人もの若者が山田のもとに集っている。東京フィルハーモニー会管弦楽部にも熱烈な聴衆はそれなりにいた。1914年からの第1次世界大戦は日本に好景気をもたらし、ピアノを買って子供に習わせる、富裕でハイカラな家庭も急増している。クラシック音楽への関心が高まりつつあるのは明らかだ。東京フィルハーモニー会管弦楽部の活動のタイミングは決して悪くはなかった。ところが社会的な支えが足りなかった。

敗因は何だろう？ 山田本人の箔のつけ方が足りていなかった。すごい作曲家か、すごい演奏家か。日本の場合、それは結局、本場西洋で通用するか否かで決まる。山田はたしかに1910(明治43)年から1913(大正2)年までドイツで留学生生活を送った。日本人作曲家として初めてといえる本格的なオペラやシンフォニーを作り上げた。作風も十分に1910年代前半の先端を行っていた。リヒャルト・シュト

ラウス、ドビュッシー、スクリャーピンを糧^{かて}にし、日本や東洋の美意識も、特に交響詩《曼陀羅^{まんだら}の華^{はな}》には反映させられていた。とはいえ、そこに折り紙が付いていなかった。山田の管弦楽作品もオペラもドイツで一度も音になっていない。指揮者としてはまともな勉強もしていない。それなのに、ドイツ帰りの新進作曲家兼指揮者として、いきなり東京フィルハーモニー会管弦楽部を作ってもらい、派手に売り出した。岩崎小彌太の特別な計らいがあってこそ。だが、^{くろうと}玄人筋の嫉妬^{しつと}は爆発した。オーケストラにこれからなじもうとする人々も、岩崎が山田を過大評価し、入れ込み過ぎているのではないかと、疑念を抱いた。それを跳ね返すだけの手形も^{いんちゆう}印籠も、山田は持っていなかった。

挽回するには、海外で新たに折り紙をもらってくるしかない。しかし第1次世界大戦は続いている。ヨーロッパには戻れない。山田は焦^{あせ}った。どこかに行けないか。そうだ、アメリカがある。第1次世界大戦でも日本の友邦だ。太平洋にはドイツの潜水艦もない。海路は保たれている。クラシック音楽に関していえば、アメリカはヨーロッパのような本場でないかもしれない。が、ニューヨークなら別格だ。そこでの成功は、ヨーロッパの音楽家にも箔をつけ、富を与える。^{いわ}況んや日本の音楽家においてをや。山田の目標は定まった。カーネギー・ホールで交響楽を指揮し、成功を収めるのだ。

渡米をどう段取るか。岩崎小彌太は山田耕筈と手を切ることを社内的条件のひとつとして三菱財閥の総帥^{そうすい}に上り詰めたばかり。表立ってはもう頼めぬ(裏では頼んでいたのだが)。山田は建築家の本野精吾^{もと の せいご}に救いを求めた。ベルリン留学時代の友人であり、兄の本野一郎は、大隈^{おおくま}重信内閣を1916(大正5)年に継いだ寺内^{まさたけ}正毅内閣で、外務大臣を務めていた。山

田の狙い目はそこである。盟邦アメリカとの親善のため、音楽文化大使のようなものに任じてもらえないか。

本野外相は乗り気になった。日本の中国への干渉的な積極策をアメリカにあまり邪魔されたくない。そのためにはアメリカ社会に親日ムードを掻^かき立てたい。文化使節の派遣はよい選択肢だった。山田のアメリカでの活動を在米の日本大使館が助けると約した。もしも大きなコンサートが成立すれば外相の個人ルートで2万ドルを提供できるとも言ったらしい。けれど、あくまで演奏会が決まってからだ。オーケストラを潰^{つぶ}して以来、耐乏生活を送る山田にはそもそも渡米する旅費すらない。すぎたのは身内と弟子である。姉の夫のイギリス人宣教師、エドワード・ガントレットに大枚をはたしてもらった。それから弟子の近衛秀麿だ。なにしろ公爵家である。次男坊のまだ学生でも潤沢^{じゆんたく}なお小遣いを持っている。近衛は山田の渡米を全身全霊で支援した。有り金をはたいた。

カーネギー・ホールでの自作自演演奏会

山田が近衛秀麿に見送られ横浜を出港したのは、1917(大正6)年12月17日である。ハワイを経て、サンフランシスコに到着したのは翌年1月14日。そこからお目当てのニューヨークに移動し、山田はカーネギー・ホールに立つために積極的な社交を開始する。外務省の伝手^{でんて}で在米の日本人有力者たちと接触する。そして、日本を代表する音楽家がやってきたぞと、アメリカのジャーナリズムに自らを売り込む。山田は義兄のガントレットに養育された時期も長ければ、英語でさまざまな授業が行われていた^{かんせい}関西学院に学んでもいた。英語のたしなみがあった。

山田の工作は着実に成果を上げていった。たとえば有力な音楽週刊誌『ミュージカル・クワリエ』の1918年3月14日号に山田を紹介する大きな記事が出た。抄訳を紹介しよう。

「日本の青年、山田耕筰は、日本で初めて交響曲やソナタのような大形式の楽曲を創作できる作曲家である。山田は医学者の息子で、父の反対を押し切り、医師でなく音楽家を目指し、東京の帝国音楽アカデミーに進んだ。この学校はすでに30年の歴史を有する。山田の希望は初めから作曲にあった。自国の民族音楽の響きに立脚した作曲を行い、世界の魂に触れることが日本の音楽家の行くべき最善の道と考えたからである。けれどもせっかく入った音楽学校にそのためのコースがない。彼はドイツ人の教授にチェロを学びながら作曲を独習し、歌曲や室内楽曲を試作した。しかしそれでは山田は飽き足らない。山田はやがてベルリンに旅立った。とはいえ作曲はそれまで独学である。ベルリンの高等音楽院が受け入れてくれるだろうか。山田は自作の譜面を、大作曲家のマックス・ブルッフに見せた。ブルッフは入学への太鼓判を押した。山田は学校で作曲に明け暮れた。卒業してもなおベルリンにとどまった。そして日本の古い物語に基づくオペラ《墮ちたる天女》を完成させた。それをミュンスターの歌劇場が認め、1914年夏の上演を約束した。日本物だから、日本の衣装や小道具が不可欠だ。山田は準備のためひさびさに帰国した。山田はすぐベルリンに戻り、そのあと、モスクワで仕事をしようと考えていた。山田はベルリンからの帰国の途中に滞在したモスクワで、ある歌劇場の音楽監督に迎えるという約束をとりつけていた。ところがすべては第1次世界大戦の勃発でご破算となった。山田は日本に西洋音楽を根付かせる活動に専心することにした。日本人演奏家を

結集して東京フィルハーモニック・ソサエティを組織した。それは日本最初の交響楽団である。メンバーは50人から始まり、人数を増やしながら今日に至っている。以来、山田は指揮者として、作曲家として、教育者として、東京で活躍してきた。その山田がニューヨークを訪れたのは、音楽教育法や指揮を研鑽するためである。それから山田の作品をアメリカの楽譜出版社に売り込むためでもある。せっかくの滞在なので自作を指揮する機会が与えられれば喜んで行う意思も有している」

この物語には突っ込みどころが多くある。山田の父は医者ではないし、山田が子供の頃に亡くなっている。《墮ちたる天女》の上演についてドイツの歌劇場と契約ができていたかどうかは定かではない。モスクワの歌劇場の監督のくだりは信じがたい。それ以上に驚かされるのは、2年前に消滅した東京フィルハーモニー会管弦楽部が隆々たる発展を続けていると、紹介されていることだ。

記者の取材に不備があったのか。それとも山田が自らを大きく見せようとしたのか。私は後者に真実味を感じる。しかし、芸術家とは古今東西法螺のひとつも吹くものだろう。山田はカーネギー・ホールに出られるか否かに人生を賭けていた。出演して指揮してしまえば成功を勝ち取れるはず。天才山田の確信である。それまでは嘘も方便だ。有力誌の好意的な記事をタテに、山田の工作は進む。スポンサーが集まり始める。本野外相が約束したはずの2万ドルは日本から送金されてこなかったが、かわりに岩崎小彌太が内々に2千ドルを送ってきた。日本大使館もいづらか協力した。

かくて1918(大正7)年10月16日、山田の大願は成就する。曲目は全部自作。オーケストラはメトロポリタン歌劇場管弦楽団とニューヨー

ク・フィルハーモニックのメンバーを主とする臨時混成団体である。会場は盛況で、公演は熱狂的拍手と共に終わった。翌日のニューヨークの新聞にはいくつも批評が載った。ニューヨーク・タイムズ紙は比較的辛口の論調の中にも最大限の好意を込めた。《曼陀羅の華》と《暗い扉》という2つの交響詩を褒め、山田の音楽とは全体的にリヒャルト・シュトラウスからストラヴィンスキーまで、メンデルスゾーンからワーグナーまでの折衷で、あまりに広がりすぎているけれど、それは青年の覇気の証明であり、将来の成長が期待されると書いた。ニューヨーク・アメリカン紙はというと、もう手放しで褒めた。山田は作曲も指揮も素晴らしく、作曲では2つの交響詩が色彩の豊かさとコントラストの妙と劇的な力を示して絶品であり、指揮は軽妙で鋭利で正確でアメリカを代表するボストン交響楽団の次の音楽監督に推薦されてもおかしくないほどと称え、山田は日本人がクラシック音楽の世界でも高い地歩を占め得ることを証明したと記した。

そして捲土重来へ

だが山田はまだ満足できなかった。たしかに成功はした。でも自作自演だけだ。指揮者として泰西名曲を振っての評価も得ねばならない。ニューヨークの在留邦人の有力者たちは10月の山田の大成功で気が大きくなっていった。再びお金が集まり、1919(大正8)年1月24日、山田はカーネギー・ホールに再登場した。

曲目の目玉はワーグナーである。第1次世界大戦は終わったばかり。ワーグナーは敵国ドイツの象徴としてアメリカでは当時、まだ演奏が忌避されていた。それなのにあえてやった。山田はドイツで学び、ワーグナーに精通した指揮者でもあるというおのれのイメージを、ニューヨークの音楽ジャーナリストたちに振りまいていた。山田はドイツ留学以来のワグネリアンではあっても、指揮者としてのワーグナー経験は決して豊富ではなかったのだが。でもそこは山田の才能である。ニューヨークの批評家連は山田のワーグナーに手慣れた技を発見してしまった。音楽雑誌『ザ・ミュージカル・リーダー』にはこんな評が載った。「《ニルンベルクのマイスタージンガー》にも《ワルキューレ》にも山田は慣れ親しんでおり、その指揮は堂に入っていた」。山田の指揮によって、ニューヨークにひさびさにワーグナーが甦り、アメリカ人たちはドイツ音楽を非難することを忘れて、聴き入った。

こうして山田は、東京の敵をニューヨークで討ったというか、彼の楽歴に欠けていた本場のお墨付きを得た。捲土重来を期するための環境は整った。

文 | 片山杜秀(かたやま もりひで)

思想史研究者、音楽評論家。慶應義塾大学法学部教授。2008年、『音盤考現学』『音盤博物誌』で吉田秀和賞、サントリー学芸賞を受賞。『クラシックの核心』『ゴジラと日の丸』『近代日本の右翼思想』『未完のファシズム』『見果てぬ日本』ほか著書多数。

次回予告

山田耕筰のアメリカ遠征を資金面で援助した近衛秀麿が、今度は自分の番とばかりに欧州へ。ベルリンやパリでの武者修行を描きます。

Information

新入団	ヴァイオリン 後藤 康(ごとう こう) 2020年5月1日付で入団。
退団	チェロ 桑田 歩(くわた あゆむ) 2020年5月31日付で退団。
留学終了	ヴァイオリン 猶井悠樹(なおい ゆうき)、2020年8月31日、文化庁新進芸術家海外研修制度による留学終了。
訃報	当団元ヴァイオリン奏者(1946年2月入団)で団友の小野千枝子(おの ちえこ)氏が2020年5月1日に逝去されました。享年98。謹んでご冥福をお祈りいたします。 当団元コントラバス奏者(1966年4月入団)で団友の建部欣司(たてべ きんじ)氏が2020年7月19日に逝去されました。享年78。謹んでご冥福をお祈りいたします。
主催公演の中止について	新型コロナウイルスの感染拡大防止のため、下記的主催公演を中止させていただきました。またフィルハーモニー2020年5月号および6月号も発行を中止いたしました。 <ul style="list-style-type: none">・2020年4・5・6月定期公演(ABCプログラム全公演)・2020年5月4日 Music Tomorrow 2020・2020年7月4日 ヴェイトマン《オラトリオ「箱舟」》・2020年7月17日 明電舎 presents N響名曲コンサート2020・2020年7月19日 第22回 NHK交響楽団 松山定期演奏会・2020年8月2日 夏休み特別公演 夏だ! 祭りだ!! N響ほっとコンサート
主催公演の実施について	演奏者の間隔を通常よりも大幅に広げるなどの感染防止策を講じながら下記的主催公演を実施いたしました。 <ul style="list-style-type: none">・2020年7月17日 N響 希望のコンサート(無観客、FM生放送、テレビ収録)・2020年8月2日 N響 夏のフレッシュコンサート(テレビ・FM収録)
ゲスト・コンサートマスター就任(再掲載)	客演コンサートマスターとしてN響と共演を重ねてきた白井圭(しらい けい)が、2020年4月1日付でNHK交響楽団ゲスト・コンサートマスターに就任しました。1983年、トリニダードトバゴ生まれ。東京藝術大学附属音楽高等学校を経て同大学を卒業。2007年からウィーン国立音楽大学に留学。2001年日本音楽コンクール第2位および増沢賞、2007年ARDミュンヘン国際音楽コンクール第2位および聴衆賞(2007)など、多くのコンクールで入賞。ウィーン国立歌劇場の契約団員として在籍したほか、チェコ・フィルハーモニー管弦楽団、ケルンWDR交響楽団をはじめ、国内外のオーケストラにゲスト・コンサートマスターとして招かれています。

速報! NHK交響楽団 10月公演

NHKホール

2020年10月17日(土) 6:00pm | 18日(日) 3:00pm

指揮: 鈴木雅明

ハイドン / 交響曲 第101番 二長調 Hob. I-101「時計」

モーツァルト / 交響曲 第39番 変ホ長調 K. 543

東京芸術劇場 コンサートホール

2020年10月22日(木) 7:00pm | 23日(金) 7:00pm

指揮: 鈴木雅明 | サクソフォーン: 須川展也

武満 徹 / デイ・シグナル、ガーデン・レイン、ナイト・シグナル

レーション / サクソフォーン協奏曲 作品14

バルフルド / 交響曲 第4番 変ホ長調「ナイヴ」

サントリーホール

2020年10月28日(水) 7:00pm | 29日(木) 7:00pm

指揮: 鈴木雅明

シューベルト / 交響曲 第2番 変口長調 D. 125

シューベルト / 交響曲 第4番 短調 D. 417「悲劇的」

チケット料金、前売所等については、
N響ホームページの各公演ページをご覧ください。

お問い合わせ: N響ガイド TEL 03-5793-8161

※営業日・営業時間はN響ホームページをご覧ください。

特別支援・特別協力・賛助会員

Corporate Membership

特別支援

岩谷産業株式会社	代表取締役社長 間島 寛
三菱地所株式会社	執行役社長 吉田淳一
東日本旅客鉄道株式会社	代表取締役社長 深澤祐二
株式会社 みずほ銀行	頭取 藤原弘治
公益財団法人 渋谷育英会	理事長 小丸成洋

特別協力

BMW ジャパン	代表取締役社長 Christian Wiedmann
ユナイテッド航空会社	アジア太平洋・大西洋地区営業担当副社長 Marcel Fuchs
全日本空輸株式会社	代表取締役社長 平子裕志
株式会社 松尾楽器商会	代表取締役 松尾治樹
ヤマハ株式会社	代表執行役社長 中田卓也
株式会社 パレスホテル	代表取締役社長 吉原大介

賛助会員

・ 常陸宮	・ イーソリューションズ(株) 代表取締役社長 佐々木経世	・ SMBC日興証券(株) 代表取締役社長 近藤雄一郎
・ (株)アートレイ 代表取締役 小森活美	・ EY新日本有限責任監査法人 理事長 片倉正美	・ SCSK(株) 代表取締役社長執行役員 最高執行責任者 谷原 徹
・ アイシン・エィ・ダブリュ(株) 取締役社長 尾崎和久	・ 池上通信機(株) 代表取締役社長 清森洋祐	・ (株)NHKアート 代表取締役社長 小野木昌史
・ 葵設備工事(株) 代表取締役社長 安藤正明	・ 伊東国際特許事務所 会長 伊東忠彦	・ (一財)NHK インターナショナル 理事長 小泉公二
・ アサヒグループホールディングス(株) 代表取締役社長兼CEO 小路明善	・ 井村屋グループ(株) 代表取締役会長 浅田剛夫	・ NHK 営業サービス(株) 代表取締役社長 松原洋一
・ (株)朝日工業社 代表取締役社長 高須康有	・ (株)インターネットイニシアティブ 代表取締役会長 鈴木幸一	・ (株)NHK エデュケーショナル 代表取締役社長 熊楚御堂朋子
・ 朝日信用金庫 理事長 橋本 宏	・ (株)ウイングツァー 代表取締役 福田健二	・ (一財)NHK エンジニアリングシステム 理事長 山本 真
・ 有限責任 あずさ監査法人 理事長 高波博之	・ AGC(株) 代表取締役兼社長執行役員 島村琢哉	・ (株)NHK エンタープライズ 代表取締役社長 安齋尚志
・ アットホーム(株) 代表取締役社長 鶴森康史		

- ・(学)NHK学園
理事長 | 浜田泰人
- ・(株)NHK グローバルメディアサービス
代表取締役社長 | 荒木裕志
- ・(一財)NHK サービスセンター
理事長 | 黄木紀之
- ・(株)NHK出版
代表取締役社長 | 森永公紀
- ・(株)NHK テクノロジーズ
代表取締役社長 | 大橋一三
- ・(株)NHK ビジネスクリエイティブ
代表取締役社長 | 谷弘聡史
- ・(株)NHK プロモーション
代表取締役社長 | 風谷英隆
- ・(株)NHK文化センター
代表取締役社長 | 泉谷八千代
- ・(一財)NHK放送研修センター
理事長 | 原田達也
- ・(株)エヌオーイー
代表取締役社長 | 橋本肇
- ・(株)NTTドコモ
代表取締役社長 | 吉澤和弘
- ・(株)NTTファンティーズ
代表取締役社長 | 一法師 淳
- ・荏原冷熱システム(株)
代表取締役 | 庄野 道
- ・大崎電気工業(株)
代表取締役会長 | 渡邊佳英
- ・大塚ホールディングス(株)
代表取締役社長兼CEO | 樋口達夫
- ・(株)大林組
代表取締役社長 | 蓮輪賢治
- ・オールニッポンヘリコプター(株)
代表取締役社長 | 柳川 淳
- ・岡崎耕治
- ・沖電気工業(株)
代表取締役執行役員 | 鎌上信也
- ・小田急電鉄(株)
取締役社長 | 星野晃司
- ・花王(株)
代表取締役 社長執行役員 | 澤田道隆
- ・カンオ計算機(株)
代表取締役社長 | 櫻尾和宏
- ・鹿島建設(株)
代表取締役社長 | 押味至一
- ・片倉康行
- ・(株)加藤電気工業所
代表取締役社長 | 加藤浩章
- ・角川歴彦
- ・(株)金子製作所
代表取締役 | 金子晴房
- ・カルチュア・エンタテインメント(株)
代表取締役社長 | 中西一雄
- ・(株)関電工
取締役社長 社長執行役員
仲摩俊男
- ・(株)かんぼ生命保険
代表執行役社長 | 千田哲也
- ・キッコーマン(株)
取締役名誉会長 | 茂木友三郎
- ・(株)教育芸術社
代表取締役 | 市川かおり
- ・(株)共栄サービス
代表取締役 | 三宅国紀
- ・(株)共同通信会館
代表取締役 | 牧野和宏
- ・(一社)共同通信社
社長 | 水谷 亨
- ・キリンホールディングス(株)
代表取締役社長 | 磯崎功典
- ・キングレコード(株)
代表取締役 | 村上 潔
- ・(学)国立音楽大学
理事長 | 山田晴彦
- ・グラフエンプラットフォーム(株)
代表取締役 | 長谷川正治
- ・京王電鉄(株)
代表取締役 | 紅村 康
- ・京成電鉄(株)
代表取締役社長 | 小林敏也
- ・KDDI(株)
代表取締役社長 | 高橋 誠
- ・京浜急行電鉄(株)
取締役社長 | 原田一之
- ・(医)社団 恒仁会
理事長 | 伊藤恒道
- ・(株)サウンド&ミュージック クリエーション
代表取締役 | 河合由里子
- ・佐川印刷(株)
代表取締役会長 | 木下宗昭
- ・(株)サコ コンサルタント
取締役 総務部長 | 大森 保
- ・佐藤弘康
- ・サフラン電機(株)
代表取締役社長 | 藤崎貴之
- ・(株)サンセイ
代表取締役社長 | 富田 稔
- ・サントリーホールディングス(株)
代表取締役社長 | 新浪剛史
- ・JXTGホールディングス(株)
代表取締役社長 | 杉森 務
- ・(株)ジャパン・アーツ
代表取締役社長 | 二瓶純一
- ・(株)ジュビターテレコム
代表取締役社長 | 石川雄三
- ・ジョンソン・エンド・ジョンソン(株)
メディカルカンパニー
- ・(株)白川プロ
代表取締役社長 | 白川亜弥
- ・新赤坂クリニック
名誉院長 | 松木康夫
- ・信越化学工業(株)
代表取締役会長 | 金川千尋
- ・新菱冷熱工業(株)
代表取締役社長 | 加賀美 猛
- ・(株)スカパーJSATホールディングス
代表取締役社長 | 米倉英一
- ・(株)菅原
代表取締役社長 | 古江訓雄
- ・スズキ(株)
代表取締役社長 | 鈴木俊宏
- ・鈴木美代
- ・住友商事(株)
代表取締役社長執行役員 CEO
兵頭誠之
- ・住友電気工業(株)
社長 | 井上 治
- ・住友電設(株)
取締役社長 | 坂崎全男
- ・セイコーホールディングス(株)
代表取締役会長兼グループCEO
服部真二
- ・聖徳大学
学長 | 川並弘純

- ・西武鉄道(株)
取締役社長 | 喜多村樹美男
- ・関彰商事(株)
代表取締役会長 | 関 正夫
- ・(株)セノン
代表取締役 | 小谷野宗靖
- ・全国農業協同組合連合会
経営管理委員会 会長 | 長澤 豊
- ・洗足学園音楽大学
学長 | 万代晋也
- ・(株)ソニー・ミュージックエンタテインメント
代表取締役社長 CEO | 村松俊亮
- ・損害保険ジャパン(株)
取締役社長 | 西澤敬二
- ・第一三共(株)
代表取締役会長 | 中山譲治
- ・ダイキン工業(株)
取締役社長 | 十河政則
- ・大成建設(株)
代表取締役社長 | 相川善郎
- ・大日本印刷(株)
代表取締役 | 北島義俊
- ・高砂熱学工業(株)
代表取締役社長 COO | 小島和人
- ・(株)ダク
代表取締役 | 福田浩二
- ・(株)竹中工務店
取締役執行役員社長 | 佐々木正人
- ・田原 昇
- ・中外製薬(株)
代表取締役会長 | 小坂達朗
- ・(株)電通
代表取締役 社長執行役員 | 五十嵐 博
- ・(株)TOKAIホールディングス
代表取締役社長 | 鶴田勝彦
- ・東海旅客鉄道(株)
代表取締役社長 | 金子 慎
- ・東急(株)
取締役社長 | 高橋和夫
- ・(株)東急文化村
代表取締役社長 | 中野哲夫
- ・(株)東京交通会館
取締役社長 | 八木橋孝男
- ・東信地所(株)
代表取締役 | 堀川利通
- ・東武鉄道(株)
取締役社長 | 根津嘉澄
- ・東邦音楽大学
理事長・学長 | 三室戸東光
- ・桐朋学園大学
学長 | 梅津時比古
- ・東邦ホールディングス(株)
代表取締役会長 CEO | 濱田矩男
- ・(株)東北新社
代表取締役社長 | 二宮清隆
- ・(-財)凸版印刷三幸会
代表理事 | 足立直樹
- ・トヨタ自動車(株)
代表取締役社長 | 豊田章男
- ・内外施設工業(株)
取締役会長 | 林 正道
- ・中銀グループ
代表 | 渡辺蔵人
- ・(株)日放ツーリスト
代表取締役社長 | 谷本佳則
- ・日本ガイシ(株)
取締役社長 | 大島 卓
- ・(株)日本国際放送
代表取締役社長 | 城本 勝
- ・日本通運(株)
代表取締役社長 | 齋藤 充
- ・日本電気(株)
代表取締役 執行役員社長
新野 隆
- ・日本土地建物(株)
代表取締役社長 | 平松哲郎
- ・(-財)日本放送協会 共済会
理事長 | 北爪秀樹
- ・日本郵政(株)
代表執行役員社長 | 増田寛也
- ・(株)ニフコ
代表取締役社長 | 山本利行
- ・野村ホールディングス(株)
代表執行役員社長 | 奥田健太郎
- ・パナソニック(株)
代表取締役社長 | 津賀一宏
- ・(有)パルフェ
代表取締役 | 伊藤良彦
- ・東日本電信電話(株)
代表取締役社長 | 井上福造
- ・(株)日立製作所
執行役員社長 | 東原敏昭
- ・(株)フォトン
代表取締役 | 瀧水 隆
- ・福田三千男
- ・富士通(株)
代表取締役社長 | 時田隆仁
- ・富士通フロンテック(株)
代表取締役社長 | 川上博予
- ・古川建築音響研究所
所長 | 古川宣一
- ・(株)朋栄ホールディングス
代表取締役 | 清原慶三
- ・(株)放送衛星システム
代表取締役社長 | 井上樹彦
- ・(公)放送文化基金
理事長 | 濱田純一
- ・ホクト(株)
代表取締役社長 | 水野雅義
- ・前田工織(株)
代表取締役社長兼COO | 前田尚宏
- ・(株)松尾楽器商会
代表取締役 | 松尾治樹
- ・丸紅(株)
代表取締役社長 | 柿木真澄
- ・溝江建設(株)
代表取締役社長 | 溝江 弘
- ・三井住友海上火災保険(株)
取締役社長 | 原 典之
- ・(株)三井住友銀行
頭取 | 高島 誠
- ・三菱商事(株)
代表取締役社長 | 垣内威彦
- ・三菱電機(株)
執行役員社長 | 杉山武史
- ・(株)緑山スタジオ・シティ
代表取締役社長 | 難波一弘
- ・三橋産業(株)
代表取締役会長 | 三橋洋之
- ・三原穂積
- ・(学)武蔵野音楽学園
理事長 | 福井直敬
- ・(株)明治
代表取締役社長 | 松田克也

・(株)明電舎
取締役社長 | 三井田 健

・(株)目の眼
代表 | 櫻井 恵

・森ビル(株)
代表取締役社長 | 辻 慎吾

・森平舞台機構(株)
代表取締役 | 森 健輔

・山田産業(株)
代表取締役 | 山田裕幸

・(株)山野楽器
代表取締役社長 | 山野政彦

・(株)ヤマハミュージックジャパン
代表取締役社長 | 押木正人

・ユニオンツール(株)
代表取締役会長 | 片山貴雄

・米澤文彦

・(株)読売広告社
代表取締役社長 | 藤沼大輔

・(株)読売旅行
代表取締役社長 | 坂元 隆

・リコージャパン(株)
代表取締役 社長執行役員 CEO
坂主智弘

・料亭 三長
代表 | 高橋千善

・(株)リブレ
代表取締役社長 | 鈴木信也

・(有)ルナ・エンタープライズ
代表取締役 | 戸張誠二

・ルーム(株)
代表取締役社長 社長執行役員
松本 功

・YKアクロス(株)
代表取締役社長 | 中野健次

(五十音順、敬称略)

NHK交響楽団への ご寄付について

NHK交響楽団は多くの方々の貴重なご寄付に支えられて、積極的な演奏活動を展開しております。定期公演の充実をはじめ、著名な指揮者・演奏家の招聘、意欲あふれる特別演奏会の実現、海外公演の実施など、今後も音楽文化の向上に努めてまいりますので、みなさまのご支援をよろしくお願い申し上げます。

「賛助会員」入会のご案内

NHK交響楽団は賛助会員制度を設け、上記の方々にご支援をいただいております。当団の経営基盤を支える大きな柱となっております。会員制度の内容は次の通りです。

■当団は「公益財団法人」として認定されています。

当団は芸術の普及向上を行うことを主目的とする法人として「公益財団法人」の認定を受けているため、当団に対する寄付金は税制上の優遇措置の対象となります。

1. 会費：一口50万円(年間)
 2. 期間：入会は随時、年会費をお支払いいただいたときから1年間
 3. 入会の特典：『フィルハーモニー』、『年間パンフレット』、『第9』演奏会プログラム等にご芳名を記載させていただきます。
- N響主催公演のご鑑賞の機会を設けます。

遺贈のご案内

資産の遺贈(遺言による寄付)を希望される方々のご便宜をお図りするために、NHK交響楽団では信託銀行が提案する「遺言信託制度」をご紹介します(三井住友信託銀行と提携)。相続財産目録の作成から遺産分割手続の実施まで、煩雑な相続手続を信託銀行が有償で代行いたします。まずはN響寄付担当係へご相談ください。

お問い合わせ

公益財団法人 NHK交響楽団「寄付担当係」

TEL: 03-5793-8120

NHK交響楽団

首席指揮者：パーヴォ・ヤルヴィ

名誉音楽監督：シャルル・デュトワ

桂冠名誉指揮者：ヘルベルト・ブロムシュテット

桂冠指揮者：ウラディーミル・アシュケナージ

正指揮者：外山雄三、尾高忠明

第1コンサートマスター：篠崎史紀

コンサートマスター：伊藤亮太郎

ゲスト・コンサートマスター：ライナー・キュッヒル、白井 圭

第1ヴァイオリン

青木 調
宇根京子
大鹿由希
倉富亮太
後藤 康
小林玉紀
齋藤真知亜
高井敏弘
猶井悠樹
中村弓子
降旗貴雄
○松田拓之
宮川奈々
○森田昌弘
○山岸 努
□横島礼理
○横溝耕一

第2ヴァイオリン

○大林修子
☆大宮臨太郎
木全利行
齋藤麻衣子
嶋田慶子
○白井 篤
鈴木弘一
○田中晶子
坪井きらら
丹羽洋輔
平野一彦
船木陽子
俣野賢仁
○三又治彦

宮里親弘
矢津将也
山田慶一
○横山俊朗
米田有花

ヴィオラ

○佐々木 亮
◇川本嘉子
小野 聡
小島茂隆
坂口弦太郎
谷口真弓
飛澤浩人
○中村翔太郎
○中村洋乃理
松井直之
#御法川雄矢
○村松 龍
山田雄司

チェロ

○藤森亮一
市 寛也
小島幸法
三戸正秀
辻本 玲
中 実穂
○西山健一
○藤村俊介
宮坂広志
村井 将
○山内俊輔
渡邊方子

コントラバス

◎吉田 秀
☆市川雅典
☆西山真二
稻川永示
○岡本 潤
今野 京
佐川裕昭
本間達朗
矢内陽子

フルート

◎甲斐雅之
◎神田寛明
梶川真歩
菅原 潤
中村淳二

オーボエ

◎青山聖樹
◎吉村結実
池田昭子
坪池泉美
和久井 仁

クラリネット

◎伊藤 圭
◎松本健司
#山根孝司

ファゴット

◎宇賀神広宣
◎水谷上総
佐藤由起
菅原恵子
森田 格

ホルン

◎今井仁志
◎福川伸陽
石山直城
勝俣 泰
木川博史
野見山和子

トランペット

◎菊本和昭
◎長谷川智之
安藤友樹
山本英司

トロンボーン

◎古賀 光
◎新田幹男
池上 亘
栗田雅勝
黒金寛行
吉川武典

テューバ

池田幸広

ティンパニ

◎植松 透
◎久保昌一

打楽器

石川達也
黒田英実
竹島悟史

ハーブ

早川りさこ

ステージ・マネージャー

徳永匡哉
深畑一徳

ライブラリアン

沖 あかね
木村英代

(五十音順、◎首席、◇首席客演、☆首席代行、○次席、□次席代行、#インスペクター)

NHK SYMPHONY ORCHESTRA, TOKYO

Chief Conductor: Paavo Järvi

Music Director Emeritus: Charles Dutoit

Honorary Conductor Laureate: Herbert Blomstedt

Conductor Laureate: Vladimir Ashkenazy

Permanent Conductors: Yuzo Toyama, Tadaaki Otaka

First Concertmaster: Fuminori Maro Shinozaki

Concertmaster: Ryotaro Ito

Guest Concertmaster: Rainer Küchl, Kei Shirai

1st Violins

- Shirabe Aoki
- Kyoko Une
- Yuki Oshika
- Ryota Kuratomi
- Ko Goto
- Tamaki Kobayashi
- Machia Saito
- Toshihiro Takai
- Yuki Naoi
- Yumiko Nakamura
- Takao Furihata
- Hiroyuki Matsuda
- Nana Miyagawa
- Masahiro Morita
- Tsutomu Yamagishi
- Masamichi Yokoshima
- Koichi Yokomizo

2nd Violins

- ◎ Nobuko Obayashi
- ☆ Rintaro Omiya
- Toshiyuki Kimata
- Maiko Saito
- Keiko Shimada
- Atsushi Shirai
- Koichi Suzuki
- Akiko Tanaka
- Kirara Tsuboi
- Yosuke Niwa
- Kazuhiko Hirano
- Yoko Funaki
- Kenji Matano
- Haruhiko Mimata
- Chikahiro Miyazato
- Masaya Yazu
- Yoshikazu Yamada
- Toshiro Yokoyama
- Yuka Yoneda

Violas

- ◎ Ryo Sasaki
- ◇ Yoshiko Kawamoto
- Satoshi Ono
- Shigetaka Obata
- Genaro Sakaguchi
- Mayumi Taniguchi
- Hiroto Tobisawa
- Shotaro Nakamura
- Hironori Nakamura
- Naoyuki Matsui
- # Yuya Minorikawa
- Ryo Muramatsu
- Yuji Yamada

Cellos

- ◎ Ryoichi Fujimori
- Hiroya Ichi
- Yukinori Kobatake
- Masahide Sannohe
- Rei Tsumijmoto
- Miho Naka
- Ken'ichi Nishiyama
- Shunsuke Fujimura
- Hiroshi Miyasaka
- Yuki Murai
- Shunsuke Yamanouchi
- Masako Watanabe

Contrabasses

- ◎ Shu Yoshida
- ☆ Masanori Ichikawa
- ☆ Shinji Nishiyama
- Eiji Inagawa
- Jun Okamoto
- Takashi Konno
- Hiroaki Sagawa
- Tatsuro Honma
- Yoko Yanai

Flutes

- ◎ Masayuki Kai
- ◎ Hiroaki Kanda
- Maho Kajikawa
- Jun Sugawara
- Junji Nakamura

Oboes

- ◎ Satoki Aoyama
- ◎ Yumi Yoshimura
- Shoko Ikeda
- Izumi Tsuboike
- Hitoshi Wakui

Clarinets

- ◎ Kei Ito
- ◎ Kenji Matsumoto
- # Takashi Yamane

Bassoons

- ◎ Hironori Ugajin
- ◎ Kazusa Mizutani
- Yuki Sato
- Keiko Sugawara
- Itaru Morita

Horns

- ◎ Hitoshi Imai
- ◎ Nobuaki Fukukawa
- Naoki Ishiyama
- Yasushi Katsumata
- Hiroshi Kigawa
- Kazuko Nomiya

Trumpets

- ◎ Kazuaki Kikumoto
- ◎ Tomoyuki Hasegawa
- Tomoki Ando

Eiji Yamamoto

Trombones

- ◎ Hikaru Koga
- ◎ Mikio Nitta
- Ko Ikegami
- Masakatsu Kurita
- Hiroyuki Kurogane
- Takenori Yoshikawa

Tuba

Yukihiro Ikeda

Timpani

- ◎ Toru Uematsu
- ◎ Shoichi Kubo

Percussion

Tatsuya Ishikawa
Hidemi Kuroda
Satoshi Takeshima

Harp

Risako Hayakawa

Stage Manager

Masaya Tokunaga
Kazunori Fukahata

Librarian

Akane Oki
Hideyo Kimura

(◎ Principal, ◇ Guest Principal, ☆ Acting Principal, ○ Vice Principal, □ Acting Vice Principal, # Inspector)



みんな、アーティスト。

「キラキラっとアートコンクール」は、障がいのある子どもたちの可能性の応援を目的に2002年にスタートしました。本コンクールが子どもたちの優れた才能を評価・発掘・展示する機会となり、子どもたちが絵を描く楽しみや喜びを増し、芸術活動の裾野が広がることを願い、応援してまいります。

全応募作品はコンクール Web サイトで公開しています。
<https://kira-art.jp/>

人を、想う力。街を、想う力。 **三菱地所グループ**

大人の旅を、ごいっしょに。



大人になったら、したいこと。

大人の休日 倶楽部



50歳からの旅に、この一枚。大人の休日倶楽部カード。

◎満50歳以上の方へ。



大人の休日倶楽部 **ミドル**
JR東日本線・JR北海道線のきっぷが何回でも
5%割引*
初年度年会費(2,624円)無料!

入会後1年間は年会費が無料となります。なお、退会1年以内に再入会された方は対象となりません。

*発売箇所・利用期間等に制限があります。

◎男性満65歳以上、女性満60歳以上の方へ。



大人の休日倶楽部 **ジバング**
JR東日本線・JR北海道線のきっぷが何回でも
30%割引*
年会費:個人会員4,364円・夫婦会員7,458円

ご夫婦の場合、どちらかが満65歳以上なら、お二人そろって夫婦会員としてご入会いただけます。

◎くわしくはJR東日本・JR北海道の主な駅・びゅうプラザ・ツインクルプラザにある入会申込書をご覧ください。

「大人の休日倶楽部」ホームページ www.jreast.co.jp/otona/

JR東日本 大人の休日・ジバング倶楽部事務局:050-2016-7000(平日・土曜9:00~17:30受付、日・祝日・年末年始は休み)

*クレジットカードの審査により、ご入金いただけない場合があります。※記載の情報は2020年7月現在のものです。

〈みずほ〉は、サステナビリティへの取り組みを通じ、
環境の保全と、経済・産業・社会の
持続的な発展・繁栄に貢献します。

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS

<p>1 貧困をなくそう</p> 	<p>3 すべての人に健康と福祉を</p> 	<p>4 質の高い教育をみんなに</p> 	<p>5 ジェンダー平等を 実現しよう</p> 	<p>7 エネルギーをみんなに そしてクリーンに</p> 	<p>8 働きがいも 経済成長も</p> 
<p>9 産業と技術革新の 基盤をつくろう</p> 	<p>10 人や国の不平等 をなくそう</p> 	<p>11 住み続けられる まちづくりを</p> 	<p>13 気候変動に 具体的な対策を</p> 	<p>16 平和と公正を すべての人に</p> 	<p>17 パートナーシップで 目標を達成しよう</p> 

大きかったランドセルが
小さく見えても

「おかえり」って
いつまでも言えますように。



子どもたちに継続的な交通安全教育を。

KIDS' SAFETY CHALLENGE

ひろしま交通事故防止キャンペーン「キッズセーフティーチャレンジ」

渋谷育英会は、福山通運株式会社の創業者 故 渋谷 昇名誉会長が、子どもたちの教育を支援するために私財を寄付され、1985年6月に設立されました。以来、不登校児童・生徒の問題に対する取り組みをはじめ、高校生、大学生への奨学金の貸与事業、教育機関や文化振興を行う地域団体及び青少年の健全育成活動を行う団体等に支援をしています。

公益財団法人 **渋谷育英会**

〒721-0974 広島県福山市東深津町四丁目20番1号
TEL:084-925-2030 FAX:084-925-1370



THE 3

このスポーツ・セダンには、誰も追いつけない。



2019-2020
インポートカーオブザイヤー
受賞
日本カーオブザイヤー実行委員会主催



2020 NJC
カーオブザイヤー
インポート
受賞

3シリーズ セダンに0.99%ローン*1実施中。320d xDrive Edition Joy+なら、月々21,100円*2から。

[お支払例：BMW バリューローン*2、ボーナス併用 60回払い] 頭金1,550,000円、ローン元金4,180,000円、初回お支払額(1回) 26,283円、

月々お支払額(58回) 21,100円、ボーナス月加算額(10回) 90,000円、据置額(最終回お支払額) 2,187,818円、お支払総合計5,887,901円、手数料率(実質年率) 0.99%

BMW 320i	8速AT 4ドア右ハンドル	5,380,000円	BMW 320d xDrive Edition Joy+	8速AT 4ドア右ハンドル	5,730,000円
BMW 320i M Sport	8速スポーツAT 4ドア右ハンドル	5,990,000円	BMW 320d xDrive M Sport Edition Joy+	8速スポーツAT 4ドア右ハンドル	6,250,000円

充実のアフターサポートを、納得のコストで。JOY of OWNERSHIP BMWでは購入後3年間の無償メインテナンスをはじめ、高品質かつ多彩なサービスを全モデルに標準付帯。

* 0.99%金利は3シリーズ セダンの新車モデルをご成約のうえご登録完了いただいた方が対象。BMWファイナンス・サービスのオートローンを60回払いまで、またはオートリースをリース期間5年間までのご契約、および当社指定モデルのご契約に限り、金利は実質年率、標準金利の実質年率は3.95%です。*2、掲載のお支払例は、車両本体価格(消費税込)に基づき算出。登録時には諸費用や税金などのお支払いが別途必要となります。金利は実質年率、最終回は、据置額の再ローン契約、据置額の一括払い、車両返却による据置額ご清算が選択いただけます。車両返却による据置額のご清算の際、一般財団法人日本自動車査定協会(BMW正規ディーラーを含みます)の評価に基づく査定価格と据置額の差額分のご清算が必要となります。また、再ローンの適用金利は、その時点で当社が定める実質年率になり、ご契約時に与信審査がございます。お支払額は年間走行距離9,000kmタイプの「BMW バリューローン」で試算しております。「BMW バリューローン」は、BMWファイナンス・サービスの据置型ローン・プログラム(オープンタイプ)です。お支払例は2020年9月現在の一例です。金利や据置額は変動するため、掲載の金利および据置額が適用されない場合があります。詳細はBMW正規ディーラーにてご確認ください。※表示の価格は、メーカー希望小売価格(消費税込)で参考価格です。販売価格は、BMW正規ディーラーが独自に定めておりますので、お問い合わせください。※価格には、税金(消費税を除く)、保険料、登録に伴う諸費用、付帯価格等は含まれません。※リサイクル料金が別途必要となります。※価格は予告なく変更する場合がありますので、あらかじめご了承ください。※掲載した写真の車は一部日本仕様と異なります。また、オプション装備等を含む場合があります。※ブログトに関する詳細はwww.bmw.co.jp、またはBMW正規ディーラーにてご確認ください。※以上の内容は、予告なく変更、終了場合がございます。※記載の内容は2020年9月12日現在のものです。

世界をつなぐ、あたらしい空へ。



Inspiration of JAPAN

| A STAR ALLIANCE MEMBER 

www.ana.co.jp



— スタインウェイならすべてをピアノが教えてくれます。 —

スタインウェイピアノは、どれもが無限の可能性を持った名器です。

私たちはその可能性を最大限に拓くため、60年以上にわたって技術の研鑽に努めてきました。

そしてこれからも、スタインウェイの魅力をより身近に感じていただけるよう努力し、

日比谷ショールームで皆様とスタインウェイピアノとの「出逢い」をサポート致します。

お電話が繋がらない場合は、メールにてお気軽にお問合せください。  webadmin@h-matsuo.co.jp



▶ STEINWAY SALON TOKYO YouTubeチャンネル



YouTubeチャンネルで様々なコンテンツを発信しております。ぜひご覧ください。
松尾楽器商会では、アーティストの皆さんの演奏動画を以前から配信しております。ほかに
もピアノのお手入れ方法についてもご案内しています。技術部からの発信もどうぞ注目くだ
さい。「ピアノ鍵盤のお手入れ」「塗装面のお手入れ」「温度と湿度管理について」etc…



スタインウェイ & サンズ関東地区正規ディーラー
ライオン & ヒーリーハープ社日本総代理店

創業
1953年

株式会社 松尾楽器商会



東京都千代田区有楽町1-5-1 日比谷マリンビルB1 Tel.03-3539-1711 当面の営業時間 11:00~19:00 水曜定休
ACCESS 東京メトロ日比谷線 & 千代田線 日比谷駅A9出口すぐ「東京ミッドタウン日比谷」となり/日比谷交差点角/日比谷公園前

美が響く力。

空間は音を描くキャンパスである。コンサートホールというキャンパスに、
いかに思い描いたままの音を表現する力を得るか。
それが The CF Series の開発テーマだった。
フルオーケストラを率いたコンチェルトも、確かな存在感を持って響きわたらせる力。
囁くようなピアノシモに彩りと奥行きを与える、ゆとりという力。
長年のピアノづくりで定評を得てきたプリリアントな音の先にたどりついた進化。
それは、ずっと私たちのイメージの中で響き続けてきた音だ。

超え続けることが、在り続けること。

CFX

●ヤマハピアノ・電子ピアノ ホームページ <https://jp.yamaha.com/piano/>

●ヤマハピアノのお問い合わせは、お客様コミュニケーションセンター ピアノご相談窓口 ☎0570-003-808

営業時間:月曜～金曜 10:00～17:00(祝日およびセンター指定休日を除く)

株式会社ヤマハミュージックジャパン



PALACE HOTEL TOKYO



美しい国の、美しい一日がある。

パレスホテル東京

〒100-0005 東京都千代田区丸の内 1-1-1 tel 03-3211-5211 (代表) www.palacehoteltokyo.com



Iwatani

おかげさまで90年

90th
さあ、100年企業へ

水素で 世界を動かせ。

時代が問う。人類は次の100年を託せるエネルギーを持っているか。

私たちには、水素がある。燃焼してもCO₂を排出せず、

大きなパワーを生み、枯渇することがない

その究極のクリーンエネルギーは、すでにロケットを宇宙へ送り、

先端産業を支え、電気を作り、車を走らせている。

世の中に必要なものは、必ず世の中の当たりまえになってゆく。

だから突き進もう。水素で、もっと社会を、時代を、世界を動かせ。

日本には、未来を変えるエネルギーがある。

水素シェア No.1[※]

Iwatani
岩谷産業株式会社

※岩谷産業株式会社は、水素ガスの販売において国内市場シェア約70%を占めています。(2020年8月現在、自社調べ)